

<b>項目名</b> <small>(同一の試験項目について複数の試験がある場合、当該項目行をコピー追加してください。)</small>	<b>データ入力欄</b>
	黄色 = 必須項目
	青 = 任意項目
	紫 = 一部の物質で必須項目

### 1. 一般情報

#### GENERAL INFOMATION

##### 1.01 物質情報

#### SUBSTANCE INFOMATION

CAS番号	542-75-6
物質名(日本語名)	1,3-ジクロロプロペン
物質名(英名)	1,3-dichloropropene
別名等	テロン、D-D
国内適用法令の番号	化審法化学物質:(2)-125 PRTR政令番号:1-137
国内適用法令物質名	1,3-ジクロロプロペン
OECD/HPV名称	1,3-dichloropropene
分子式	C <sub>3</sub> H <sub>4</sub> Cl <sub>2</sub>
構造式	
備考	<p>ア) 農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。  「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。  アドレス <a href="http://www.jcpc.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpc.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、平成18年6月29日付「暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順」に従い、今後5年間を目処に、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

### 1.02 安全性情報収集計画書/報告書作成者に関する情報

#### SPONSOR INFOMATION

機関名	農薬工業会
報告書作成日	2008.09.30
備考	

### 1.03 カテゴリー評価

#### DETAILS ON CHEMICAL CATEGORY

カテゴリー評価の正当性	
-------------	--

### 1.1 一般的な物質情報

#### GENERAL SUBSTANCE INFOMATION

物質のタイプ	有機化合物
物質の色・におい・形状等の情報	淡黄色澄明液体
物理的状態(20°C、1013hPa)	液体
純度(重量/重量%)	97
出典	MSDS
備考	

### 1.5 製造・輸入量

#### QUANTITY

製造・輸入量	10000~12000トン
報告年	2007年
出典	農薬要覧

備考	
----	--

1.6 用途情報  
USE PATTERN

主な用途情報	その他: 下欄のセルに記載
工業的用途	農業
用途分類	土壌くん蒸
出典	ダウ製品要覧2007
備考	

1.7 環境および人への暴露情報  
SOURCES OF EXPOSURE

暴露に関する情報	なし
出典	なし
備考	

1.8 追加情報  
ADDITIONAL INFORMATION

既存分類	GHS分類 ID-137
職業暴露限界	不明
廃棄方法	
文献調査の範囲と日付	不明
出典	
備考	

2. 物理化学的性状  
PHYSICAL CHEMICAL DATA

2.1 融点  
MELTING POINT

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	凝固点
方法	BS4633
GLP	はい
試験を行った年	シス体:1990 トランス体:1998
試験条件	
結果	
融点: °C	シス体:-85°C トランス体:<-25°C
分解: °C	
昇華: °C	
結論	
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農業登録
出典	
引用文献	
備考	ア) 「農業登録申請のための必須項目であり、農業取締法により、国によって評価され農業登録されている。 ・「農業工業会ホームページの農業安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農業評価書」と「農業抄録」が公開される予定となっている。

2.2 沸点  
BOILING POINT

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
-------	--------------

CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	シス体 OECD103蒸留法、トランス体 Siwoloboff法
GLP	はい
試験を行った年	シス体 1990、トランス体 1998
試験条件	
結果	
沸点: °C	シス体 103.8-105.2、トランス体 114.5
圧力	
分解: °C	
結論	シス体 103.8-105.2、トランス体 114.5
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。

### 2.3 密度(比重)

#### DENSITY(RELATIVE DENSIT

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	比重瓶法
GLP	はい
試験を行った年	シス体 1990、トランス体 1998
試験条件	
結果	シス体 1.221、トランス体 1.23
タイプ	
温度(°C)	シス体 23°C、トランス体 24°C
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。

### 2.4 蒸気圧

#### VAPOUR PRESSURE

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	

注釈	
方法	シス体; OECD 104, トランス体; EPA/OPPTS 830.7950
GLP	はい
試験を行った年	シス体 1990、トランス体 1998
試験条件	
結果	
蒸気圧	シス体 4850Pa、トランス体 2982Pa
温度: °C	25°C
分解: °C	
結論	シス体 4850Pa、トランス体 2982Pa
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

## 2.5 分配係数(log Kow)

### PARTITION COEFFICIENT

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	シス体; OECD 107, トランス体; EPA/OPPTS 830.7570
GLP	はい
試験を行った年	シス体 1990、トランス体 1998
試験条件	
結果	
Log Kow	シス体 1.82、トランス体 2.1
温度: °C	20°C
結論	シス体 1.82、トランス体 2.1
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。</p> <p>アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

## 2.6.1 水溶解性(解離定数を含む)

### WATER SOLUBILITY & DISSOCIATION CONSTANT

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	

方法	シス体; OECD 105、トランス体; EPA/OPPTS 830.7840
GLP	はい
試験を行った年	1990 (シス体)、1998 (トランス体)
試験条件	
結果	
水溶解度	シス体 2450mg/L、トランス体 2520mg/L
温度: °C	20°C
pH	
pH測定時の物質濃度	
結論	シス体 2450mg/L、トランス体 2520mg/L
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	キースタディ
出典	農薬登録
引用文献	
備考	ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。
解離定数	
試験物質	
同一性	
方法	イオン化する基は有しないので測定せず
温度: °C	
GLP	
試験条件	
試験を行った年	
結果	
結論	解離しない
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	キースタディ
出典	農薬登録
引用文献	
備考	ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。

### 3. 環境運命と経路

#### ENVIRONMENTAL FATE AND PATHWAYS

##### 3.1 安定性

##### STABILITY

##### 3.1.1. 光分解

##### PHOTODEGRADATION

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	97%
注釈	
方法	AOPWIN(version 1.91)
タイプ	間接光分解

GLP	
試験を行った年	2006年
光源と波長(nm)	
太陽光強度に基づいた相対強度	
物質のスペクトル	
試験条件	光照射時間:12時間/日
結果	
物質濃度	
温度(°C)	
直接光分解	
半減期t1/2	
分解度(%)と時間	
量子収率 (%)	
間接光分解	
増感剤(タイプ)	OHラジカル
増感剤濃度	$1.5 \times 10^6$ OH/cm <sup>3</sup>
速度定数	cis: $9.3564 \times 10^{-12}$ cm <sup>3</sup> /molecule-秒 trans: $10.5693 \times 10^{-12}$ cm <sup>3</sup> /molecule-秒
半減期t1/2	t <sub>1/2</sub> = cis: 1.143日 trans: 1.012日
分解生成物	
結論	t <sub>1/2</sub> = cis: 1.143日 trans: 1.012日
注釈	
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり キースタディ
信頼性の判断根拠	一般的に認められている計算方法
出典	国による情報提供
引用文献	
備考	

### 3.1.2. 水中安定性(加水分解性)

#### STABILITY IN WATER

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	EPAの試験ガイドライン発行前の試験
GLP	いいえ
試験を行った年	1986
試験条件	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
所定時間後の分解度(%), pH, 温	
半減期	
分解生成物	
結論	半減期(各pHとも)、50.9日(10°C)、11.3日(20°C)、3.1日(30°C)
注釈	
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり キースタディ
信頼性の判断根拠	農業登録
出典	
引用文献	

備考	ア)「農業登録申請のための必須項目であり、農業取締法により、国によって評価され農業登録されている。 ・「農業工業会ホームページの農業安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農業評価書」と「農業抄録」が公開される予定となっている。
----	--

### 3.3. 移動と分配

#### TRANSPORT AND DISTRIBUTION

##### 3.3.1 環境区分間の移動

#### TRANSPORT BETWEEN ENVIRONMENTAL COMPARTMENTS

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン			
CAS番号	542-75-6			
純度等	97%			
注釈				
方法	Fugacity model III			
結果				
媒体	大気-水-土壌-底質			
環境分布予測と媒体中濃度 (levelII/III)	分布(%)			
	大気	水	土壌	底質
	13.1	63.5	23.2	0.254
結論	分布(%)			
	大気	水	土壌	底質
	13.1	63.5	23.2	0.254
注釈	EPISUIT(version 3.12)			
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)			
	キースタディ			
信頼性の判断根拠	一般的に認められている計算方法			
出典	国による情報提供			
引用文献				
備考				

##### 3.3.2 分配

#### DISTRIBUTION

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	97%
注釈	
媒体	水-空気
方法	ヘンリー定数
試験条件	
結果	$2.48 \times 10^{-3} \text{ Pa} \times \text{m}^3/\text{mole}$
結論	$2.48 \times 10^{-3} \text{ Pa} \times \text{m}^3/\text{mole}$
注釈	HENRYWIN v1.90, 2006年, 25°C
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	一般的に認められている計算方法
出典	国による情報提供
引用文献	
備考	

## 3.4 好気性生分解性

## AEROBIC BIODEGRADATION

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	標準法
培養期間	4週間
植種源	
GLP	
試験を行った年	
試験条件	
試験物質濃度	100ppm
汚泥濃度	30ppm
培養温度 °C	
対照物質および濃度(mg/L)	
分解度測定方法	
分解度算出方法	
結果	
最終分解度(%) 日目	(%)(日目)
分解速度-1	
分解速度-2	
分解速度-3	
分解速度-4	
分解生成物	
上記結果以外の分解度測定方法及びその結果	
対象物質の7, 14日目の分解度	
その他	
結論	難分解性 間接測定 BOD 3% 直接測定 TOC 0%、GC (ヒークA)98% (ヒークB)98%
注釈	
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	既存化学物質安全性点検データ
出典	
引用文献	
備考	

項目名 (同一の試験項目について複数の試験がある場合、当該項目行をコピー追加してください。)	データ入力欄
	黄色=必須項目
	青=任意項目
	紫=一部の物質で必須項目

4-1 魚への急性毒性

ACUTE TOXICITY TO FISH

試験物質	1,3-ジクロロプロペン
同一性	542-75-6
方法	JMAFF 13-1739 2-7-1
GLP	はい
試験を行った年	2004
魚種、系統、供給者	コイ
エンドポイント	96時間LC <sub>50</sub>
試験物質の分析の有無	あり
試験物質の分析方法	
結果の統計解析手法	
試験条件	
試験魚の月齢、体長、体重	
試験用水量あたりの魚体重	
参照物質での感受性試験結果	
じゅん化条件	
希釈水源	
希釈水の化学的性質	
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	
試験物質の溶液中での安定性	
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	
暴露容器	
暴露期間	96時間
試験方式	半止水
換水率/換水頻度	
連数、1連当たりの魚数	
影響が観察された少なくとも1濃度区及び対照区における水質	
試験温度範囲	
照明の状態	
平均測定濃度の計算方法	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
生物学的影響観察	
累積死亡率の表	
統計的結果	
注釈	
対照区における死亡率	
異常反応	
その他の観察結果	
結論	
結果(96h-LC50)	0.79mg/L(実測濃度)
信頼性スコア	1. 制限なく信頼性あり
キースタディ	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	

備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>
----	---

4-2 水生無脊椎動物への急性毒性(例えばミジンコ)

ACUTE TOXICITY TO AQUATIC INVERTEBRATES (DAPHNIA)

試験物質	1,3-ジクロロプロペン
同一性	542-75-6
方法	OECD Test Guidelines 202
GLP	はい
試験を行った年	2001
生物種、系統、供給者	Daphnia magna
エンドポイント	48hr EC <sub>50</sub>
試験物質の分析の有無	あり
試験物質の分析方法	
結果の統計解析手法	
試験条件	
試験生物の起源、前処理、繁殖方	
参照物質での感受性試験結果	
試験開始時の時間齢	
希釈水源	
希釈水の化学的性質	
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	
試験物質の溶液中での安定性	
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	
暴露容器	
暴露期間	48時間
試験方式	止水
連数、1連当たりの試験生物数	
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質	
試験温度範囲	
照明の状態	
平均測定濃度の計算方法	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
遊泳阻害数	
累積遊泳阻害数の表	
注釈	
対照区における反応は妥当か	
対照区における反応の妥当性の考	
結論	
結果(48h-EC50)	3.58mg/L(48h-EC50)
信頼性スコア	1. 制限なく信頼性あり
キースタディ	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。</p> <p>・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

## 4-3 水生植物への毒性(例えば藻類)

## TOXICITY TO AQUATIC PLANTS e. g. ALGAE

試験物質	1,3-ジクロロプロペン
同一性	542-75-6
方法	EPA-FIFRA Test Guidelines 123-2
GLP	はい
試験を行った年	1999
生物種、系統、供給者	淡水緑藻 ( <i>Selenastrum capricornutum</i> )
エンドポイント	96hr EC <sub>50</sub>
毒性値算出に用いたデータの種類の	
試験物質の分析の有無	あり
試験物質の分析方法	
結果の統計解析手法	
試験条件	
試験施設での藻類継代培養方法	
藻類の前培養の方法及び状況	
参照物質での感受性試験結果	
希釈水源	
培地の化学的性質	
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	
試験物質の溶液中での安定性	
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	
暴露容器	
暴露期間	96hr
試験方式	止水
連数	
各濃度区の少なくとも1連における試験開始時と終了時の水質	
試験温度範囲	
照明の状態	
平均測定濃度の計算方法	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
細胞密度	
生長阻害率(%)	
各濃度区における生長曲線	
その他観察結果	
注釈	
対照区での生長は妥当か	
対照区における反応の妥当性の考	
結論	
結果(ErC50)	96h-EC50; 15.8mg/L(実測濃度)
結果(NOEC)	96h-NOEC; 3.58mg/L
信頼性スコア	1. 制限なく信頼性あり
キースタディ	キースタディ
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。  「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。  アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

項目名 (同一の試験項目について複数の試験がある場合、当該項目行をコピー追加してください。)	データ入力欄
	黄色＝必須項目
	青＝任意項目
	紫＝一部の物質で必須項目

5-2 急性毒性  
ACUTE TOXICITY  
A. 急性経口毒性  
ACUTE ORAL TOXICITY

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	急性毒性、農林水産省ガイドライン59農蚕3850号
GLP適合	はい
試験を行った年	1987
試験系(種／系統)	Rat Fischer 344
性別(雄:M、雌:F)	MF
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	強制経口投与
観察期間(日)	
その他の試験条件	
統計学的処理	
結果	
各用量群での死亡数	
臨床所見	
剖検所見	
その他	
結論	
LD50値又はLC50値	♂300mg/kg, ♀ 224mg/kg
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。

B. 急性吸入毒性  
ACUTE INHALATION TOXICITY

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	急性毒性、農林水産省ガイドライン59農蚕3850号
GLP適合	はい
試験を行った年	1987

試験系(種/系統)	Rat
性別(雄:M、雌:F)	Fischer 344
投与量	MF
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	
観察期間(日)	
その他の試験条件	
統計学的処理	
結果	
各用量群での死亡数	
臨床所見	
剖検所見	
その他	
結論	
LD50値又はLC50値	♂ 855~1035ppm, ♀ 904ppm
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ)内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。

### C. 急性経皮毒性

#### ACUTE DERMAL TOXICITY

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法/ガイドライン	急性毒性、農林水産省ガイドライン59農蚕3850号
GLP適合	はい
試験を行った年	1987
試験系(種/系統)	Rabbit
性別(雄:M、雌:F)	New Zealand White
投与量	MF
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	
観察期間(日)	
その他の試験条件	
統計学的処理	
結果	
各用量群での死亡数	
臨床所見	
剖検所見	
その他	
結論	
LD50値又はLC50値	333mg/kg
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	
注釈	

信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。  「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。  アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

5-5 反復投与毒性

REPEATED DOSE TOXICITY

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法/ガイドライン	OECD412 亜急性毒性、農林水産省ガイドライン59農蚕4200号
GLP適合	はい
試験を行った年	1993
試験系(種/系統)	Rat Fischer 344
性別(雄:M、雌:F)	MF
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	混餌投与
対照群に対する処理	
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	
投与頻度	
回復期間(日)	
試験条件	
統計学的処理	
結果	
体重、体重増加量	
摂餌量、飲水量	
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	
眼科学的所見(発生率、重篤度)	
血液学的所見(発生率、重篤度)	
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	
尿検査所見(発生率、重篤度)	
死亡数(率)、死亡時間	
剖検所見(発生率、重篤度)	
臓器重量	
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	
実際に摂取された量	
用量反応性	
注釈	
結論	
NOAEL (NOEL)	♂:5mg/kg/day(NOAEL)、♀:5mg/kg/day(NOEL)
LOAEL (LOEL)	
NOAEL/LOAELの推定根拠	
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等	
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり

信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。          ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。          アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a>          イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

#### 5-6 *in vitro* 遺伝毒性

#### GENETIC TOXICITY IN VITRO

#### A. 遺伝子突然変異

#### GENE MUTATION

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法/ガイドライン	復帰変異原性試験、農林水産省ガイドライン59農蚕4200号
GLP適合	はい
試験を行った年	1997
細胞株又は検定菌	S. typhimurium TA1535, TA100
代謝活性化(S9)の有無	
試験条件	
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	
代謝活性なしの場合	
変異原性	
代謝活性ありの場合	
代謝活性なしの場合	
注釈	
結論	
遺伝子突然変異	陰性
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。          ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。          アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a>          イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

#### B. 染色体異常

#### CHROMOSOMAL ABBERATION

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法/ガイドライン	染色体異常試験、農林水産省ガイドライン59農蚕3850号
GLP適合	はい
試験を行った年	1988
細胞株	Chinese hamster lung fibroblasts (V79)
代謝活性化(S9)の有無	
試験条件	
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	

代謝活性なしの場合	
染色体異常	
代謝活性ありの場合	
代謝活性なしの場合	
注釈	
結論	
染色体異常	陽性
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ)内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。

5-9 生殖・発生毒性(受胎能と発生毒性を含む)

REPRODUCTIVE TOXICITY(Including Fertility and Development Toxicity)

A. 受胎能

FERTILITY

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法/ガイドライン	繁殖毒性試験、農林水産省ガイドライン59農蚕3850号
試験のタイプ	two generation
GLP適合	はい
試験を行った年	1987
試験系(種/系統)	Rat Fischer 344
性別(雄:M、雌:F)	MF
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	蒸気吸入
試験期間	
交配前暴露期間	
試験条件	
統計学的処理	
結果	
体重、体重増加量	
摂餌量、飲水量	
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	
妊娠率(妊娠個体数/交配数)	
交尾前期間(交配までの日数及び交配までの性周期回数)	
妊娠期間(妊娠0日から起算)	
妊娠指数(生存胎仔数/着床痕数)	
哺乳所見	
性周期変動	
精子所見	
血液学的所見(発生率、重篤度)	
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	
尿検査所見(発生率、重篤度)	
死亡数(率)、死亡時間	
剖検所見(発生率、重篤度)	
着床数	

黄体数	
未熟卵胞数	
臓器重量	
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	
実際に摂取された量	
用量反応性	
同腹仔数及び体重	
性比	
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)	
離乳までの分娩後生存率	
新生仔所見(肉眼的な異常)	
生後発育及び発育率	
膣開口又は精巣下降(包皮分離)	
生殖器-肛門間距離などその他の観察事項	
臓器重量	
統計的結果	
注釈	
結論	
PIに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	30ppm(NOEL)
F1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	90ppm(NOEL)
F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	90ppm(NOEL)
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	ア)「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。 ・「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。 アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a> イ)内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。

## B. 発生毒性

### DEVELOPMENTAL TOXICITY

試験物質名	1,3-ジクロロプロペン
CAS番号	542-75-6
純度等	
注釈	
方法	
方法/ガイドライン	農薬登録申請用試験法
GLP適合	いいえ
試験を行った年	1983
試験系(種/系統)	Rabbit New Zealand White
性別(雄:M、雌:F)	F
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
投与経路	蒸気吸入
試験期間	
交配前暴露期間	
試験条件	
統計学的処理	
結果	
死亡数(率)、死亡時間	
用量あたり妊娠数	
流産数	
早期/後期吸収数	
着床数	

黄体数	
妊娠期間(妊娠0日から起算)	
体重、体重増加量	
摂餌量、飲水量	
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	
血液学的所見(発生率、重篤度)	
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	
剖検所見(発生率、重篤度)	
臓器重量(総子宮量への影響)	
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	
同腹仔数及び体重	
生存数(生存胎仔数及び胎仔数)	
性比	
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)	
生後発育	
分娩後生存率	
肉眼的異常(外表観察、内臓標本、骨格標本)	
実際に投与された量	
用量反応性	
統計的結果	
注釈	
結論	
PIに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	20ppm(NOEL)
F1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	120ppm(NOEL)
F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	
注釈	
信頼性	1 制限なく信頼性あり
信頼性の判断根拠	農薬登録
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>ア) 「農薬登録申請のための必須項目であり、農薬取締法により、国によって評価され農薬登録されている。  「農薬工業会ホームページの農薬安全性情報を参照下さい。  アドレス <a href="http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html">http://www.jcpa.or.jp/nousan/index.html</a></p> <p>イ) 内閣府食品安全委員会において、リスク評価が行われ、「農薬評価書」と「農薬抄録」が公開される予定となっている。</p>

6 参考文献(以下に欄を追加の上、一文献について一行にて一覧を記載)

文献番号(半角数字: 自動的に半角にな	詳細(OECD方式での記入をお願いします。下の記入例参照。)	日本語の場合、以下の欄をお願いします。
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		